

アカガイの放流について、
下記内容で大阪府を通じて令和7年8月4日に報道提供を行いました。

アカガイの稚貝5万個を大阪湾に放流

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の水産資源を増やすため、キジハタやヒラメなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさまで成長させて放流する「栽培漁業」を推進しています。

このたび、アカガイの稚貝を下記により放流することになりましたので、お知らせ致します。

記

1. 放流対象種

アカガイ

2. 放流個体数

計 50,000個（殻長3 cm、重さ約7 g）

3. 放流日時及び放流場所

令和7年8月6日（水） 9：00～ 泉佐野市周辺海域

4. 放流後の成長予測

約2年で殻長8 cm（約150 g）に成長し、漁獲対象のサイズとなる見込みです。



【放流するアカガイの稚貝】



【アカガイを放流する様子】